

令和4年第4回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和4年5月25日（水曜日） 午後1時42分から4時5分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 国分央・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則・高麗公民館長 大沢雅之
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案22～29号、報告第3号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第22号 日高市役所出張所設置条例及び日高市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例
原案どおり可決
- 議案第23号 日高市立公民館の使用に関する条例施行規則の一部を改正する規則及び日高市立図書館の設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則
原案どおり可決
- 議案第24号 日高市公民館の使用料の免除に係るボランティア等団体の認定に関する要綱
原案どおり可決
- 議案第25号 日高市立図書館の使用料の免除に係るボランティア等団体の認定に関する要綱
原案どおり可決
- 議案第26号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第27号 日高市学校運営協議会委員の任命について
原案どおり可決
- 議案第28号 日高市地域学校協働活動推進員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第29号 日高市人権教育推進協議会委員の委嘱について

原案どおり可決
報告第3号 専決処理について
原案どおり承認

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 市の新型コロナウイルス対策本部会議のメンバーは。

(教育部長) 市長、副市長、教育長、部長級、保健センター所長、危機管理課長である。

(委員) 保健師など医療に携わる者を入れ意見を聞いた方がよいと思う。感染症対策については、3密を避けることとワクチン接種が基本となる。市庁舎では一番大切な換気が徹底できていない。学校はできている。常に風の流れを作ることが重要である。マスクをしなければならぬという考えは見直し、マスクを外すなら風を通すなど考えて、工夫をすることが大切である。5歳から11歳のワクチンの接種率は低い状況である。

(委員) 給食費の補助についての内容は。

(教育総務課長) 給食の食材費は保護者負担が原則であるが、昨今の世界情勢による食材価格が高騰について、保護者からの負担増は求めず、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し補填するものである。

(委員) これを期に地場産野菜を更に増やしていければよいと思う。

(委員) 運動会について11月に予定されているがどこの学校か。

(学校教育課長) 高根小学校である。

(委員) 受験もあるので、中学校は11月ではない方がよい。

(委員) 教職員の働き方改革という言葉は、最近よく聞くが、具体的な対策が見えてこない。

(教育長) 月80時間以上の残業をなくすため、朝の業務の見直し等行っている。

(委員) 働き方改革においては部活動のありかたが議論になることが多く、部活動を縮小する傾向に見える。勉強だけやっても成績は上がらないと思う。部活動から得られる達成感は大切である。大人の都合ではなく、子ども目線で何が重要なのかを考えてほしい。

(教育長) 現在、地域の方に指導者として力をかりる地域部活動化を進めている。

(委員) 子どもたちが働き方改革の犠牲にならないように進めてもらいたい。

(委員) 非認知能力を養うには子どもたちの自主性が尊重されなければならない。そ

れを押さえつけるような指導は良くない。指導する側に非認知能力がないのか、意味を理解してしないのか疑問である。

(委員) いじめ問題について、「問題になるとは思わなかった」といった個人の感覚で対処するのは良くない。いじめ問題は非常にデリケートである。問題が発生したらすぐ報告し、多くの機関を巻き込んで解決することが大切であると思う。

(委員) ICT の活用について、タブレット端末が検索に使われていることが多いように思えるが、ICT 教育というのか。もう少し活用の余地はないのか。

(委員) 調べ学習のみの活用では、10 年前と変わらない。

(学校教育課) 例えば、体育の授業で動画を取って検証したり、校外学習の観察で活用するなど、文房具の一つとして活用して行けるようにしたい。

(教育長) よい活用事例を共有していきたい。

(委員) 英語などで活用したり、授業の補足解説などが見られるようにする等、活用の幅を広げてもらいたい。コロナ禍によって導入が進んだが、落ち着いたことによって使用しなくなるのはよくない。

(委員) 健診で学校を訪問することがあるが、その際、女性の教員に教頭になりたいかと尋ねると、否定的な教員が多い。勤務年数の少ない教員はそうでもないが、年数が長い教員は管理職への意欲が低いと感じる。男性に聞いてもその傾向はある。

(教育長) 管理職を目指す教員は減少傾向にある。積極的に声をかけていきたい。

(委員) 教職員の体調に問題はないか。

(学校教育課長) 数年前と比較すると心身の故障は減少傾向にあるが、6 月は生徒指導上でも問題が起きやすい時期であるので注視していきたい。

(委員) 不登校の傾向はいかがか。

(学校教育課副参事) 令和 2 年度と 3 年度を比較すると年間 30 日以上の欠席は、増加傾向にある。

(教育長) 家庭環境の影響による不登校が増加傾向にある。コロナ禍で家族との時間が増えたことにより、家庭環境が悪くなる例や、逆に良くなる例が見られる。

(学校教育課長) 5 年ほど前は、ネットトラブルによる不登校が多かった。

(委員) 西部教育事務所長からの非認知能力の育成と学力の相関に関する研究依頼とはどういったものか。

(学校教育課副参事) 小学校 4 年生から 6 年生に対して、年間 12 回程度のプログラムを用意し指導したり、子どもへのアンケートを実施したりし、非認知能力と学力との関係を調査するものである。

(委員) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育について、具体的に動き始めると、地域や保護者から様々意見が出てくる。更に気を引き締めて頑張ってもらいたい。

(学校教育課長) 日高市は 1 つの地区に 1 小・中学校、1 公民館という立地で、小、中、地域に結束力がある。話し合いをしても皆さん積極的である。これから課題は出てくると思うが乗り越えていけると思っている。

(委員) 性の多様性を尊重した教育の推進について、さいたま市の高校で大手衣料品メーカーと提携し制服を見直したというニュースを見た。発端は女子生徒のスラックス希望者の増加であったという。今後の校則の見直しと併せて検討していくこと

も大切である。

(教育長) 制服そのものの在り方についても検討の時期に来ていると思っている。

(委員) 制服組合との調整も必要となる問題である。

(委員) 高麗中学校は今年度からスラックスが可能となった。

(教育長) 性の多様性や、保護者の負担軽減の観点から考えてきたい。

(委員) 市民の方が制作し、寄付をいただいた歴史の本とはどういったものか。

(教育部参事) 日高市にゆかりのある高林謙三や桑田衡平といった本を書かれたかたで、高麗氏について研究したものをまとめた本である。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第22号、23号 質疑なし。

議案第24号

(委員) どのような手続きとなるのか。

(生涯学習課長) 事前に申請をいただき、活動内容等を審査し登録するものである。

(委員) ボランティア団体とサークル団体との違いは何か。

(生涯学習課長) ボランティア活動を主体としているサークルであれば減免の対象となる。

議案第25号 質疑なし。

議案第26号から29号、報告第3号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○6月定例会：6月24日（金曜日）午後1時40分から 委員了承

○7月定例会：7月28日（木曜日）午後1時40分から 委員了承